

## 06 環境先進都市四日市



地球規模で拡大する環境問題を伝えるとともに、四日市市の取り組みを紹介しています。未来に向けて私たちができることを考えてみましょう。

未来に向けてメッセージ▶



### 展示に関する疑問は解説員へ!

解説員は、「解説員養成講座」を修了した方で、来館者への常設展示室の案内をしています。土日祝日を中心に、約30名の解説員が活躍しています。ブルーの解説員ベストが目印です。展示室で会えたらぜひ話しかけてみてください。



四日市公害と環境未来館では毎年「解説員養成講座」を開催しています。18歳以上の方ならどなたでも受講できます。詳しくは四日市公害と環境未来館までお問合せください。

## 05 現在の四日市



現在もお豊かな自然が残る姿と、環境に配慮しながらイノベーションを行う四日市の産業の姿を示しています。



環境学習の  
実践者!

## 四日市市エコパートナー (以下、エコパートナー)

四日市市は、環境について、ともに学び、考え、行動する社会を目指す取り組みを行っています。四日市市環境計画に基づき、市と協働で、環境学習、環境活動を行う個人、団体、事業者のみなさんがエコパートナーとして活躍しています。現在約50団体が登録しており、各自の得意分野を生かした様々な公害・環境に関する講座などが実施されています。

講座の内容は座学だけでなく、野外のフィールドでの自然体験など多岐にわたり、この5年間で約2,000人の市民が参加しました。こうした多彩な環境学習講座を行えるのも、日ごろ地域で地道に活動しているエコパートナーならではの強みです。



▲四日市市エコパートナー事業  
「四日市にアカウミガメがくるよ!」

この日、公害環境学習に訪れた小学5年生を対象にお話しされたのは、山本勝治さんです。山本さんは四日市公害が発生した当時、第二コンビナートの企業に勤めていました。工場周辺の環境の変化を目の当たりにし、「公害をなくすために、自分が働く工場を改善していかなければいけない」と考えていたそうです。当時の環境はどのようなものだったのか、公害被害のようすや、それを改善しようとする企業の公害対策についても説明してくれました。企業は空気をきれいにするために、ぜん息などの原因となる亜硫酸ガス



〈語り部〉  
山本勝治さん  
四日市再生  
「公害市民塾」代表

## 公害の記憶を語り継ぐ 「語り部」

四日市公害と環境未来館には、四日市公害を経験したご自身の体験談をお話しする語り部がいます。現在6名の語り部がそれぞれの思いを来館者に伝えており、公害の記憶の継承という点でなくてはならない存在です。

このように当時を知る語り部の生の声を持つ力は大きく、聴講した人からは、「資料で調べるより現実味が沸いた」「立場によって色々な見方があることが新鮮だった」などの声が届いています。

(硫黄酸化物)の発生が少ない燃料に転換しました。そして排煙から硫酸酸化物を除去する排煙脱硫装置を設置するなどの公害防止のための整備を進めました。豊かな環境を取り戻すために、長い時間と色々な人たちの努力があったのです。

また、お話を聞いた小学生からの質問に対して、山本さんは「会社を辞めさせられるのではないかと不安もあった」と答える場面がありました。そのような状況のなかでも四日市公害の実態を伝え、多くの人にこの問題を理解し、環境改善に向けて進んでほしいという思いで活動を続けてきたそうです。

